

□ 教科書を見ながら物質や、現象について調べよう！

1. 「銀」と「酸化銀」

- ・右の写真のように、銀は、(①) があって、よく (②) を流す金属である。
- ・一方、電池に使われる酸化銀は、(③) 色で光沢もなく、(④) も流さない。



銀貨



銀の食器

このようにどちらの物質にも「銀」という共通のことが入っているが、持っている性質は (⑤) 。



酸化銀



酸化銀電池
(内部に酸化銀)

2つの物質の関係を調べるため加熱実験を行なった。

アルミニウムはくで皿を作り、酸化銀 (約 0.5 g 程度) をのせる。

加熱をすると、図 1 のようにしだいに色が変わっていった。図 2 はこの試験管の中に、火の付いた線香を入れたときの様子である。

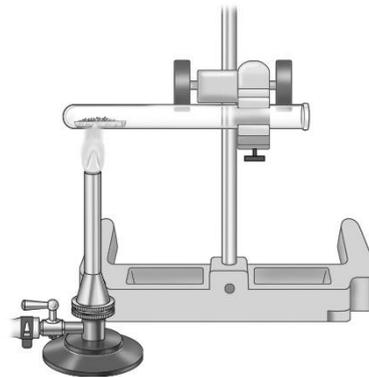


図 1



図 2

- ・酸化銀を加熱すると、色は (⑥) 色から、(⑦) 色に変化していった。
- ・また、加熱後に火の付いた線香を近づけると、(⑧) 。
- このことから、気体の (⑨) が発生したことがわかる。
- ・加熱後に残った物質は右の写真のような、こすると (⑩)、たたくと (⑪)、(⑫) 性質を持つため、(⑬) であると推定できる。
- ・ある物質が別の物質になる変化を (⑭) といい、1 種類の物質が 2 種類以上になる変化を (⑮)、⑮ が熱によって起こるものを (⑯) という。